

平成15年度

予算のあらまし

新市建設計画の着実な実行、そして

21世紀を拓き 緑と活気にあふれ 一人ひとりが輝くまちへ

3月に開かれた西東京市議会第1回定例会において、平成15年度当初予算が成立しましたので、予算のあらましについてお知らせします。

平成15年度の一般会計当初予算は、555億9千300万円で前年度に比べて7.1%の減となっています。また、一般会計と7つの特別会計を合わせた予算総額は、950億8千730万円で、前年度に比べて4.4%の減となっています。

平成15年度予算は、新市建設計画に掲げられた4つの重点施策をはじめ、各種事務事業を着実に推進し「21世紀を拓き 緑と活気にあふれ

一人ひとりが輝くまち」の実現に積極的に努めるとともに、長引く景気の低迷により厳しい財政環境にあることを踏まえ、なお一層の財源の確保とともに、財源の有効かつ効率的な配分と経常的な歳出の抑制に努めることを基本的な考え方として編成しました。

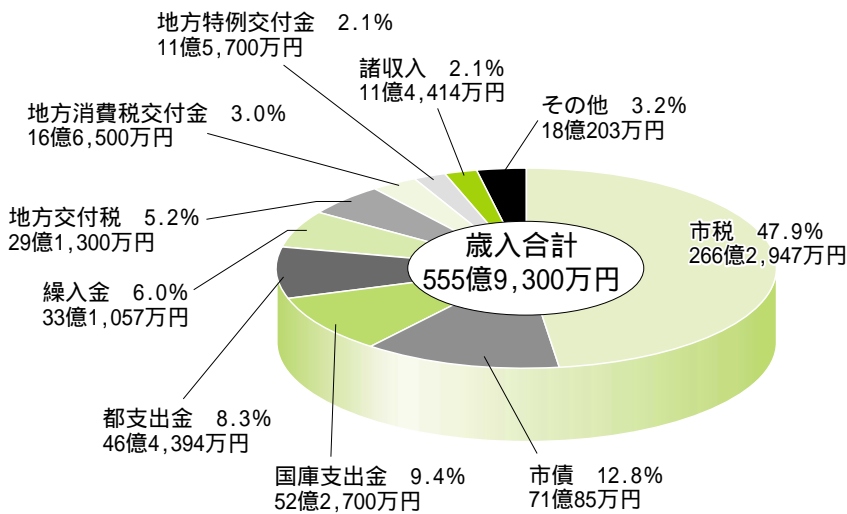
以下に今年度の予算と新市建設計画事業をお知らせします。

なお、各予算額は、原則として1万円未満を四捨五入してあります。

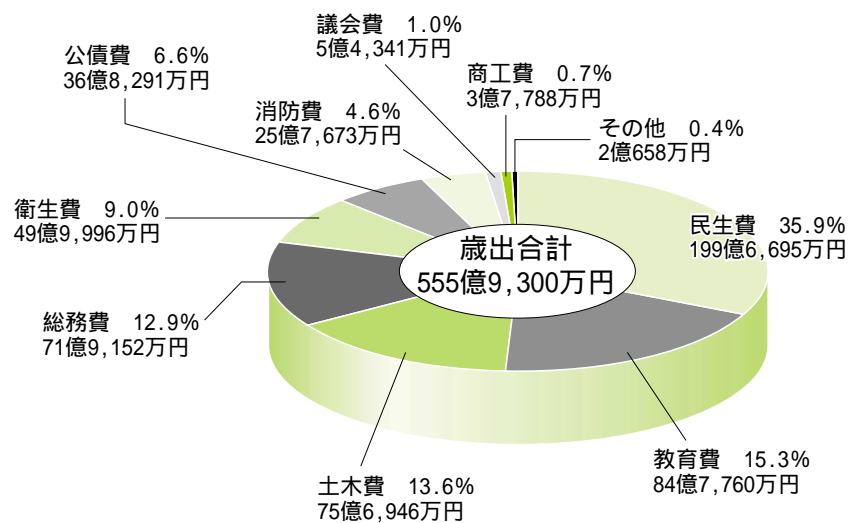
企画課(田無庁舎内線1122)

財政課(田無庁舎内線1135)

一般会計歳入予算



一般会計歳出予算(目的別)



1 地域の中で支えあう福祉のまち

事業名	平成15年度事業費	事業概要
基幹型在宅介護支援センターの設置	105万円	基幹型の在宅介護支援センターを核としながら、市内7か所の地域型在宅介護支援センター間の保健、医療、福祉に関する専門的な相談、支援、情報交換等を円滑にし、支援を必要とする高齢者に対する相談、支援を充実します。
ファミリー・サポート・センターの設立	738万円	急な残業や子どもの急病時などにおける変則的な保育ニーズに対応できるよう、保育を援助する側とされる側の会員組織であるファミリー・サポート・センターを平成13年度に設立しました。3年目となる平成15年度も引き続き事業の一層の充実と会員の拡大を図ります。
病後児保育室の設立	1,224万円	疾病により登園できない乳幼児を短期間預かり、子育てと就労の両立を支援するため、医療機関に病後児保育室を平成13年度1か所設置しました。平成15年度は、さらに1か所設置します。
子ども家庭支援センターの建設について検討	1,769万円	子育てに関する相談、情報提供、サービス提供などを総合的に展開する子ども家庭支援センターの建設について、こどもの発達支援センターとの施設機能の統合も視野に入れた(仮称)こどもの総合支援センターとしての整備を検討します。平成15年度は、コール田無の中に子ども家庭支援センターを設置し、子どもと家庭に関する相談並びに家庭在宅サービス等の事業を開始します。
こどもの発達支援センターの建設	900万円	相談・交流・一時保育・発達支援という総合的な機能を有する子育て支援の中核的施設として(仮称)こどもの総合支援センターを建設することにより、すべての子どもの健やかな育みを支援します。平成15年度は、基本設計を実施します。
健康づくり推進プランの策定	1,661万円	国が推進している「健康日本21」の健康指標を見据え、「一次予防」に一層の重点を置いた生活習慣病予防事業、介護予防事業など、市民に密着したきめ細かい健康づくりに関する事業を総合的、体系的に実施できるよう、健康づくり推進プランを策定します。
予防事業等の拡充	1,639万円	5歳児歯科健診(フッ素塗布)およびがん検診(乳がん検診)の充実を図ります。
高齢者・障害者向け住宅の確保	4万円	老朽化した泉町および東伏見の市営住宅の建て替えを進め、高齢者向け住宅、障害者向け住宅を確保します。平成15年度は、泉町市営住宅の基本方針を定めます。
痴呆性高齢者等グループホームの整備	3,592万円	社会福祉法人やNPO、地域の活動団体等の協力を得ながら、痴呆性高齢者、知的障害者および精神障害者のグループホームの整備を進めます。平成14年度で1か所開設した痴呆性高齢者グループホームを、平成15年度ではさらに1か所開設します。

西東京市会計別予算額

会計区分	当初予算額		増減率
	平成15年度	平成14年度	
一般会計	555億9,300万円	598億5,700万円	-7.1%
国民健康保険特別会計	125億8,158万円	121億6,700万円	3.4%
下水道事業特別会計	46億2,162万円	46億6,073万円	-0.8%
受託水道事業特別会計	18億1,979万円	19億1,405万円	-4.9%
中小企業従業員退職金等共済事業特別会計	1億1,122万円	1億3,935万円	-20.2%
老人保健(医療)特別会計	130億3,330万円	139億5,186万円	-6.6%
駐車場事業特別会計	2億1,495万円	2億72万円	7.1%
介護保険特別会計	71億1,184万円	65億5,418万円	8.5%
合計	950億8,730万円	994億4,489万円	-4.4%

新市建設計画の重点施策

- (仮称)合併記念公園の整備
- コミュニティバスの運行
- 地域情報化の推進
- ひばりヶ丘駅周辺まちづくりの推進



市民の期待を受けて、築造工事がはじまる(仮称)合併記念公園